

tour: atelier incurve exhibition in tokyo 2010

2011年5月7日(土)ー6月26日(日)

土・日のみ開廊 12:00-19:00

2010年の冬、東京・新丸ビル丸の内ハウスで開催された『atelier incurve exhibition in tokyo 2010』。発起人であるダイヤモンドヘッズ・ディレクター小野光治の「すこしずつ負けることでできる豊かなつながりを」という言葉にたくさんの人たちが応え、実現した展覧会でした。本展では、丸の内ハウスで生まれたさまざまな出会いとともに、代表アーティスト6名の作品をご紹介します。

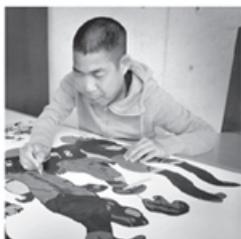


本展のポイント

『atelier incurve exhibition in tokyo 2010』が京都に巡ってきます。

好評のうちに終了した展覧会『atelier incurve exhibition in tokyo 2010』が、ギュッと凝縮されてギャラリー インカーブ | 京都に巡ってきます。展示されるのは、アトリエ インカーブのアーティスト6名の代表作。同じ「絵画」というジャンルにありながらも、素材やモチーフなど制作スタイルはそれぞれに異なります。各アーティストの世界を、より感じ取っていただける機会となるでしょう。また作品以外にも、ファッションブランドとのコラボレーションによって生まれた8種類のTシャツ、アトリエの制作スペースの再現、アーティストやスタッフの全身ポスターなど、丸の内ハウスの構成をそのままお届けします。東京で生まれたさまざまな出会いを京都でもお楽しみください。

アーティスト プロフィール



新木 友行 Tomoyuki Shinki

1982年生まれ。大の格闘技好き。黒の繊細なラインが無骨なファイターたちの隆々とした筋肉の動きと体のもつれを的確にとらえ、大胆にデフォルメされた技の数々は躍動感に溢れている。ニューヨークのギャラリー他、国内の美術館での展覧会多数。2010年、ギャラリー インカーブ | 京都では、岡沢高宏キュレーションのもと個展『Draws and Flows』を開催。



武田 英治 Eiji Takeda

1980年生まれ。雑誌広告をモチーフに制作する。何度も下描きを繰り返し、あらたに構成された写真や文字情報は、既成の概念を心地よく変容させる。ニューヨークのギャラリー他、国内の美術館での展覧会多数。2010年、ギャラリー インカーブ | 京都では、小野光治キュレーションのもと個展『家の僕が一人で』を開催。



寺尾 勝広 Katsuhiko Terao

1960年生まれ。父親が経営する鉄工所で溶接工として20年間はたらいた後、制作を開始する。モチーフはすべて鉄である。本人が「図面」と呼ぶ緻密なドローイングには、鉄骨の柱をあらわす直線と溶接の目印をあらわす記号がひしめく。ニューヨークのギャラリー他、国内の美術館での展覧会多数。



湯元 光男 Mitsuo Yumoto

1978年生まれ。モチーフは建物、船、虫や鳥など身近な事物。その特徴を鋭い洞察力で観察し、画面に写し取っていく。色鉛筆で鮮やかに彩られた色面が、成長するように縦横に広がり未知なる世界を構築していく。ニューヨークのギャラリー他、国内の美術館での展覧会多数。



塚本 和行 Kazuyuki Tsukamoto

1984年生まれ。具象的なモチーフを好み、ちょうどいい力の抜け具合で描きあげる。その遊び心あふれる作品は、どこかシニカルな空気をたたえつつも、観る者を小さな笑いに誘う。2010年、浜松市美術館での展覧会『アトリエ インカーブ展』に出品。



信谷 弘光 Hiromitsu Nobutani

1988年生まれ。丸や四角、名前のつけられないような不思議な抽象形態がつらなり散らばって、独特のリズムとバランスを画面につくりだす。ペンやクーピーペンの細い線を、一本一本でいねいに重ねることで生まれる繊細な絵肌が美しい。2010年、浜松市美術館での展覧会『アトリエ インカーブ展』に出品。

開催概要

展覧会名 tour: atelier incurve exhibition in tokyo 2010
 会期 2011年5月7日(土)ー6月26日(日) 土・日のみ開廊 12:00ー19:00
 会場 ギャラリー インカーブ | 京都
 京都市中京区壬生高樋町60-18 (四条七本松下ル仏光寺通東入北側四軒目) 〒604-8824
 URL <http://g-incurve.jp>

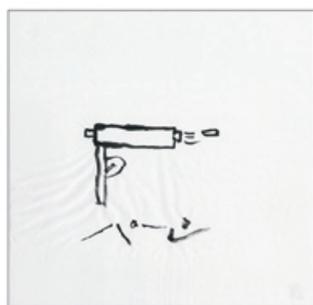
アクセス

バス：JR・地下鉄・近鉄「京都」駅市バスB4 乗り場より
 26号系統「北野白梅町 御室・山越ゆき」乗車
 (乗車時間約20分)「四条中新道」下車徒歩4分
 電車：阪急「西院」駅より徒歩13分
 嵐電「西院」駅より徒歩10分
 車：JR・地下鉄・近鉄「京都」駅より約10分。駐車場
 はありません。お車で越しの際は近隣のコイン
 パーキングをご利用ください。



広報用画像とお願い

展覧会広報にご利用いただけるよう、画像データをご用意しております。ご希望の方は「広報掲載用写真貸与申込書」に必要事項を記入の上、下記「お問い合わせ」先までメールでお送りください。画像使用の際は、「作家名」とクレジット「©2010 atelier incurve」を記載していただき、画像の部分使用やトリミング、文字を重ねるなどの処理はご遠慮願います。掲載記事・番組内容について、基本情報確認のため、原稿を下記「お問い合わせ」先までメールでお送りください。お手数ですが、掲載紙・誌または録画テープを2部ご寄贈ください。



1. 塚本和行「ピストル」



2. 新木友行「雪崩式ニークラッシャー」



3. 信谷弘光 タイトルなし



4. 武田英治「財布」



5. 湯元光男「ごうてい」



6. 寺尾勝広「H柱とはりデザイン」

ギャラリー インカーブ | 京都について

ギャラリー インカーブ | 京都は、社会福祉法人 素王会 アトリエ インカーブに所属する27名のアーティスト専門の商業ギャラリー(展覧会を企画し、作品販売を行うギャラリー)です。アトリエ インカーブのアーティストたちは、ニューヨークでのデビュー以来、サントリーミュージアム [天保山] や高梁市成羽美術館、浜松市美術館など、国内外の美術館やギャラリーで展覧会をかさねてきました。作品を定常的に鑑賞・購入できる場を、とのご要望をうけ、2010年6月、壬生寺近くの京町家を改築しギャラリー インカーブ | 京都を開廊しました。開廊日は展覧会開催時の土・日曜日です。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

お問い合わせ

ギャラリー インカーブ | 京都 三宅優子・森田静香

住所：京都市中京区壬生高樋町60-18（四条七本松下ル仏光寺通東入北側四軒目）〒604-8824

Tel：075-200-4797 info@g-incurve.jp